



たんぽぽだより 7月号

発行日 令和7年7月18日

発行元：豊島区立池袋本町小学校

電話：03-3986-7166

住所：東京都豊島区池袋本町1丁目43番地1号

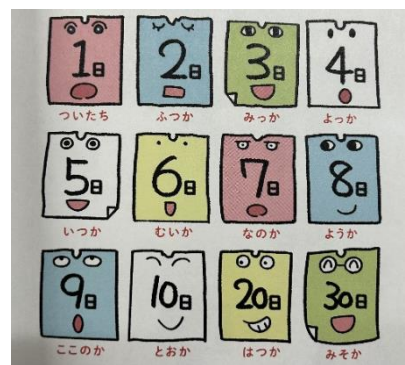


日常生活と算数 ～たんぽぽ教室の指導に関連して～

特別支援教室 たんぽぽ

①カレンダー

たんぽぽの指導の中で、カレンダーを見ながら、日付を確認することがあります。児童がつまづきやすいのは、「先週」「来週」「3日後」といった言葉の意味、「1日」「2日」「3日」…などの読み方です。日常会話の中で、大人は「ふつかに〇〇をするよ」「来週の水曜日に提出してね」など、当たり前のように使いこなしていますが、こういった言葉の使い方や読み方が分からなければ、スケジュールの把握は難しいです。繰り返し確認していく中で、身に付いていく知識だと思うので、「今日は何日?」「1週間後は何日?」等とクイズを出してみてもいいかもしれません。



②時間の感覚

「ゲームは18時で終わり」と約束したにもかかわらず、気付かぬ間に時間を過ぎてしまう…ということはあるでしょうか。「〇時で終わり」を理解し、実行する上では、①今は何時か把握して、②〇時までは何分間あるかが分かり、③使える時間がどれくらいか意識して過ごす、と様々なスキルが必要です。そこで、たんぽぽの指導では、必要に応じて「タイムタイマー」を使用しています。タイムタイマーは、残り時間が赤く示されるので、時間の感覚を視覚的に捉えることができます。タイムタイマーと同様の機能をもつスマートフォンのアプリもあります。「〇時まで」の約束を守るための1つの手段として、活用してみてもいいかもしれません。



③数量の概念

「500ml ペットボトルの縦の長さはどれくらい?」と尋ねられて、パツと答えが浮かぶでしょうか。答えは20数cmです。長さ・重さ・広さなど、算数の学習の中では様々な数量の概念が登場しますが、それらを日常生活とつなげて捉えることで、理解はより深まっていきます。その例として、長さを「自分ごと」として捉えるやり方の1つに「自分ものさし」という方法があります。腕を広げて「腕ものさし」(身長と同じくらいの長さになります)、右図のように指を広げて「手ものさし」など、自分の体を使って、様々な長さを測ってみてもいいかもしれません。

